

# 長野県農業農村整備計画

(第9次長野県土地改良長期計画)

信州の水・土・里が織りなす 未来につづく農業・農村



ため池の耐震化



美しい棚田の風景



高冷地に広がる畑地帯



子どもの農業体験



田植え機の自動運転

## ～めざす姿～

農林水産省が策定した土地改良長期計画との整合を図りつつ、第4期長野県食と農業農村振興計画の実行計画として、基本方向の達成に向けた成果目標と計画期間（2023年度～2027年度）に取り組む具体的な政策の展開内容を示しました。

### 基本方向1 ▶ 次代を担う産地を支える基盤整備の推進

生産性の高い農地整備と農業用水の安定供給により、稼げる産地を次代につなぐ農業の展開を目指します。

### 基本方向2 ▶ 安全安心で持続可能な農村の基盤づくり

ため池の耐震化や豪雨への備え、農業水利施設等の適切な保全管理体制づくり、中山間地域の特色を活かした地域振興と生活環境の整備等により、安全安心で暮らしが持続する農村環境をつくります。

### 基本方向3 ▶ 農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり

疎水や棚田など農業資産を学びや観光へ活用しながら、農業者のみならず多様な人々がつながり共に支える、農地・農村環境を保全する体制を築きます。

# 信州の水・土・里が織りなす 未来につづく農業・農村

## 基本方向 1

### 次代を担う産地を支える基盤整備の推進

達成指標	現状 (R3年度)	目標 (R9年度)
農業用水を安定供給するために重要な農業水利施設の整備箇所数	37か所	66か所

#### (1) 生産効率の高い農地の整備

- 大型機械の導入や自動走行農機の活用を可能とするため、水田の再区画整理や畦畔除去による区画拡大を進めます。
- 農地中間管理事業を活用して、担い手への農地集積・集約を進めます。
- 用排水路のパイプ化やICTの活用による水管理の省力化に向けた整備を実施します。

#### (2) 収益性の高い農地の整備

- 収益性の高い農産物の品質向上と安定生産のため、樹園地の平坦化や、農産物に応じたかんがい方式の整備を進めます。
- 野菜などの高収益作物の導入に向け、排水施設の整備更新や土層改良による排水機能の向上を図るとともに、地下水水位制御システム「FOEAS」の導入を推進し、水田の汎用化を図ります。

#### (3) 用水を安定供給するための農業水利施設の適切な更新

- 農業水利施設の適切な保安全管理と頭首工や水路橋など、損壊等により営農や生活に与える影響が大きい重要構造物の耐震・長寿命化を進めます。
- 受益地の面積や栽培作物の見直しによる必要用水量の変更に応じ、揚水ポンプの小規模化や施設の統廃合など、適切な規模での施設更新を実施します。



地すべり防止施設の長寿命化



頭首工など重要構造物の耐震・長寿命化



取水・分水ゲートの自動化



樹園地の平坦化による生産性の向上



かん水方式の改良によるスプリンクラー散水



ため池の耐震工事



棚田などの魅力を全国へ発信



農業用水を活用した小水力発電



排水など農業資産を観光に活用



ほ場の区画拡大による大型機械の導入



地域住民との協働による水路周りの草刈り



排水等の歴史を地域学習に活用



スマートフォンを活用した農業用水管理



排水機場ポンプ設備の更新



特産品加工施設など農村生活環境の整備

## 基本方向 3

### 農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり

達成指標	現状 (R3年度)	目標 (R9年度)
地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持・発揮するための活動面積	49,343ha	50,200ha

- 農村地域の資源や環境を次代へ引き継ぐため、農家のみならず地域住民や都市住民も含めた農村を支える多様な担い手の確保と、地域ぐるみで行う共同活動を支援します。
- 歴史的な排水、ため池、棚田等の農業資産を観光資源とする取組や、地域学習へ活用する取組を支援します。

## 基本方向 2

### 安全安心で持続可能な農村の基盤づくり

達成指標	現状 (R3年度)	目標 (R9年度)
防災重点農業用ため池の対策工事の完了箇所数	57か所	127か所
水門を自動化・遠隔化した農業水利施設の箇所数	48か所	84か所
農業用水を活用した小水力発電の設備容量	4,103kW	5,100kW

#### (1) 災害から暮らしを守る農村の強靭化

- 安全安心な暮らしを守るため、ため池等の地震・豪雨対策、排水機場の更新・増強、地すべり防止施設の長寿命化など、防災・減災対策を進めます。

- 長野県ため池監視システムを活用した緊急避難体制の構築を支援します。
- 流域治水におけるため池や水田を活用した雨水貯留の取組を進めます。

#### (2) 住みやすい農村を支える農村基盤整備

- 管理者による水門管理の省力化を図るため、水門の自動化・遠隔化を推進します。
- 小水力発電施設の建設を進め、売電収益等による農業水利施設の維持管理費を低減します。

- 農地と水を守っている土地改良区の人材育成や運営強化を図る取組を支援します。
- 中山間地などの条件不利地域では、きめ細かな農地の条件整備（区画整理、用排水路、農道等）、生活環境整備（集落道路、特産品加工施設等）を進めます。

## 用排水路の地中化や ICT の活用による水管理の省力化

水稲栽培においては、大規模担い手農家や法人への農地集積が進むにつれて、畦畔除草や用水管理にかかる管理労力の軽減が課題となります。管理労力を軽減し、生産コストを低減するためには、農業用水路をパイプ化（地中化）して自動給水栓を設置することが効果的です。

### 用排水路のパイプ化（地中化）

『パイプ化(地中化)』でまとめて解決！

従来の開水路管理には様々な課題が…



## 農業水利施設に係る水門の自動化・遠隔化の推進

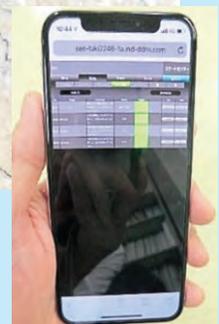
### 水門の自動化・遠隔化の取組

従来の現場操作から  
遠隔操作へ切り替えた事例



下堰（軽井沢町）

遠方監視と  
自動・遠隔化



河川増水時の取水口の状況



芋川用水（飯綱町）

増水した河川沿いでの開閉作業は危険が伴うが、水門の自動開閉、遠方操作により、作業者の安全を確保

お問合せ先

長野県農政部農地整備課  
〒380-8570 長野市大字南長野幅下692-2  
電話 026-235-7237 (直通)  
E-mail nochi@pref.nagano.lg.jp